

## 第10回 榧の若木賞授賞式



選考委員長  
**村野 健太郎**

選考委員長を務めております村野健太郎でございます。

榧の芽会では平成23年3月に設立50周年を記念して、奨学生及び社会に船出なさった会員の方々を対象とした表彰制度「榧の若木賞」を創設しました。これは皆さんが将来榧の大木になることを願いつつ、表彰前の2年間にさまざまな分野で優秀な成績を上げた方や、善行実施者を表彰し祝い金を贈呈するものです。修学中・卒業後、両方が対象になります。

今回11回目ですが、これまでの10回の受賞者総数は14名となり、単純計算しますと年平均1.4人の授与と

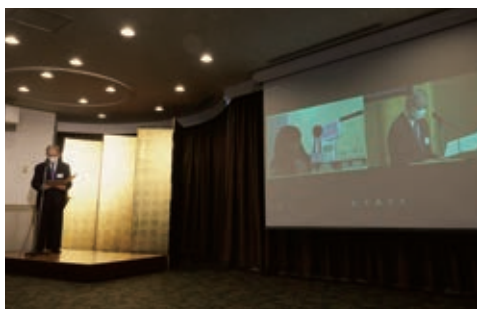
なります。皆さんも是非とも「榧の若木賞」を目指して、研鑽を積んで応募していただきたいと思います。

令和2年度の選考結果についてお話ししたいと思います。今年度は3名の方から応募がありました。その3名の方に関して選考委員会をインターネット会議で実施して、慎重に審議を重ねました。その結果、3名がともに「榧の若木賞」受賞にふさわしいという結論に至り、河内勇樹さん、川野大嗣さん、山下愛さんの3名に授与することと致しました。

河内さんは情報処理安全確保支援士特別措置試験の合格、川野さんは令和2年司法試験合格となります。山下さんは米国におけるアーティストビザ取得及びMusic for SDGs等の社会貢献活動を評価いたしました。

この榧の若木賞ですが、自薦となっています。選考委員から探し出し「この人は受賞に値する」という類いのもではありません。自ら応募することが必要です。是非とも研鑽を積んで応募していただきたいと思います。

以上で報告を終わらせていただきます。



榧の若木賞授賞式の様子。受賞者の一人、山下愛さんは居住先のボストンからオンラインによる参加です。

## 檉の若木賞・授賞者の皆さんから

Comment

◆河内勇樹さん

◆川野大嗣さん

◆山下愛さん



### 情報処理安全確保支援士 特別措置試験 合格

**河内 勇樹**さん (会員No.4616)

このたびは素晴らしい賞を授与いただき、ありがとうございます。昨年、初挑戦で合格することができました。情報処理安全確保支援士とは、ITのセキュリティ機能支援やシステム整備など情報セキュリティ全般の管理を担うスペシャリストです。日本のみならず、世界的に情報セキュリティの重要度が高まっていることもあり、現在注目されている資格の一つです。

本日一緒に受賞した方の成果を伺うと、改めて自分にももっとできることがあると思え、心を新たにいたしました。これから一層高みを目指し、多くの方に信頼してもらえる技術者になれるように精進してまいります。

本日は、誠にありがとうございました。



### 令和2年司法試験 合格

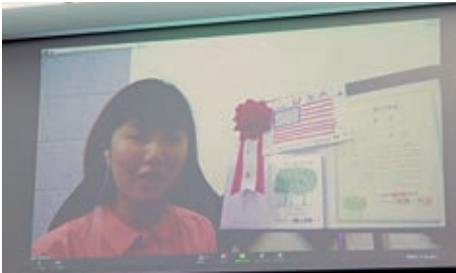
**川野 大嗣**さん (会員No.4830)

この度はこのような素敵な賞を頂きありがとうございます。司法試験に合格できたのも、法科大学院時代にご支援を頂いたことによって勉学に打ち込むことができたからでございます。その節は大変お世話になったことを感謝しております。

現在私は、一人前の法律家になるための見習いともいべき司法修習生で、法曹の先生のもとで日々研鑽に励んでおります。

将来は弁護士として檉の芽会はもちろんのこと、ここまで育てていただいたこのご恩を広く社会に還元することでお返ししていく所存でございます。どうぞこれからもよろしくお願い致します。





## 米国アーティストビザ取得及び Music for SDGs等の社会貢献活動

山下 愛さん (会員No.4426 米国ボストンよりzoom参加)

本日はズームを通して、アメリカから参加しております。よろしくお願いいたします。

アメリカで音楽大学に通っている時に檜の芽会の奨学生としてサポートを受け、そして檜の若木賞を受賞させていただきました。この度は本当に栄えある賞をいただき、誠にありがとうございます。

留学して経済的にきつい時もあり、檜の芽会にご支援いただいてやっと卒業にこぎつけることができました。そして卒業時も、先ほど事務局長の山北さんからのご説明にもあった奨学貸与金の返還一部免除を受けました。さらに卒業後には今回の檜の若木賞の受賞と、財団から実にたくさんのサポートをいただいたことで、現在の私があるのです。

米国アーティストビザを取得したのは、アメリカで音楽活動をしていきたいという強い希望があったからです。ビザ取得と大きな関係があるのですが、受賞のもう一つの成果となったのは「Music for SDGs」等の社会貢献活動です。音楽を通して世の中をよくしていくことはできないか、また日本人として世界に向けて音楽を伝えていくことで私にしかできないことがあるのではないかという思いから出発した活動となります。

「Music for SDGs」をご存じでしょうか。今日、ご参加の皆さんに是非とも覚えていて帰っていただきたいのが、この「Music for SDGs」です。さまざまな視点から掲げられている持続可能な開発目標の達成を、音楽を通して伝えていこうという活動で、私が今最も力を入

れて取り組んでいることの一つです。

最近、私が書いたのは、「髪の色が違って肌の色が違ってみんな友だちだよ」という楽しく歌える子ども向けの「みんなともだち」という曲です。いじめや偏見、人種差別などは、自分と異なる人を対象にすることが多いように思うのです。そこで「多様性を認めようよ。みんな友達だよ」という思いを歌に込めました。そういった活動を認めていただき、こういった形で表彰していただけたことを本当にうれしく思っております。

そして、この会場には、昨年と今年大学に入学し奨学生となった方が大勢おいでかと思うのですが、こういったさまざまなサポートをしてくださる財団が提供してくれる制度を利用しない手はないと思うのです。そして、一人でも多くの方々がチャレンジして、これからの活動や活躍に役立ててください。締め切りを逃して、応募できないことのないように今日のうちにGoogleカレンダーに、返還一部免除締切日や檜の若木賞の締切日を入れ、チャレンジすることがポイントです。そうして活動・活躍の幅を広げていかれることをアメリカから祈っております。

最後になりましたが財団の皆様、本当にいつもありがとうございます。感謝しきれない思いでいっぱいです。私がしっかり活動し続けることが1番の恩返しになるはずですよ。これからも頑張っていきます。この度は本当にありがとうございました。